



宇宙大豆をはやぶさの日に、 橋本小学校の児童×JAXAで植えます☆

橋本小学校の3年生児童が、6月13日「はやぶさの日」に、宇宙大豆の種まきをします。
この5年間、橋本小学校では、津久井にあるねごやファームの石井氏の協力を得て、津久井在来大豆に関する取組を3年生で行い、今年度は、宇宙に行った大豆の子孫であることにスポットを当てて種まきを行います。

また、この日はJAXAによる特別授業も実施し、その後一緒に作業をします。

大豆と宇宙のコラボレーションから、宇宙に思いを馳せ、受け継がれていく命について考える機会とします。

1 日 時 令和6年6月13日（木）11：25～14：05 ※雨天決行

2 会 場 相模原市立橋本小学校（相模原市緑区橋本1-12-20）

3 参加児童 3年生（133名）

4 内 容

時間	内容	場所
11：25～11：30	はじめの会	体育館
11：30～12：00	JAXAの方の話	体育館
12：00～13：15	昼食・昼休み ※非公開	
13：15～13：20	石井氏による大豆の植え方の話	体育館
13：20～14：00	学校内の畑で宇宙大豆を植える	学校の畑
14：00～14：05	児童の振り返り共有の時間 「大豆元気に育ててねの会」	学校の畑の前 ※雨天の場合は、各教室

5 取材について 6月12日（水）17時までにご連絡ください。

【宇宙大豆について】

平成23年、ねごやファームの石井氏は、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」に15粒の津久井在来大豆を送りました。甘味が高く丈夫に育つ津久井在来大豆でも、過酷な宇宙空間の中で芽を出したのはたったの3粒でした。

石井氏は、宇宙へ行った大豆を大切に育て、その子孫を小学校に提供してくださっています。



【問い合わせ先】

相模原市立橋本小学校

副校長 田中 和義

電 話 042-773-1671